

┌┌┌┌  
┌┌┌  
┌┌  
┌

♪ ジョイコン NEWS ♪

第3号 2013年12月17日

大倉山ジョイフルコンサート（略称「ジョイコン」）にご来場いただき心より御礼申し上げます。

今年も残すところあとわずかとなりましたが、皆様にとって今年はどうな年でしたでしょうか？  
ジョイコンにとって、発足の年であり記念すべき年となりました。

お陰さまで、当初の計画通り6回の公演を無事実施することができました。しかも、満席予約でキャンセル待ちの公演もありました。  
発足前は、“不安”や“心配”ばかりでしたから、感慨もひとしおです。

さて来年も、今年同様6回の公演を予定しております。  
“聴きに行ってみたい身近なコンサート”を目指して、その内容や運営を少しずつ充実させていきたいと思っております。  
引き続き「ジョイコン」を宜しくお願い申し上げます。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」（第3号）をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】 次回コンサートのご案内
  - ◆ 第7回コンサート
- 【2】 今後の予定（先取り情報）
  - ◆ 第8回コンサート
  - ◆ 第9回コンサート
  - ◆ 第10回コンサート
- 【3】 クラシック作曲家の生没年
- 【4】 コンサートのアンケートから

【1】 次回コンサートのご案内

■■ 第7回コンサート ■■

◇ 2014年1月19日（日曜日）14:00開演（13:30受付開始）

◇ 出演：岩下晶子（ソプラノ）、宮崎真利子（ピアノ）

◇ プログラム（予定）

- ・ ネッド・ローレム：  
「余りに長く愛してはいけない」「ナイチンゲール」「アレルヤ」他
- ・ アーロン・コープランド：バレエ音楽「ロデオ」より（ピアノ演奏）
- ・ 黒人霊歌
- ・ ルイス・モロー・ゴットシャルク：「ユニオン」（ピアノ演奏）
- ・ ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」よりメドレー

2014年の幕開けとなる、第7回ジョイフルコンサートは『アメリカのクラシックもいいね！』と題して、アメリカ音楽の光と影を

「詩人のメッセンジャー」岩下晶子の歌と「切れ味鋭い」宮崎真利子のピアノ演奏でお届けします。

★岩下さんは、2011 & 12年の日本フィル（小林研一郎指揮）でベートーベンの交響曲第9番（合唱付き）のソリスト（ソプラノ）や、バッハ、ハイドン、マーラー、モーツァルト、ストラヴィンスキー、オルフ、ヴェルディなどでソリストを務める活躍をされています。

一方、宮崎さんは2008年カーネギーホールでのソロデビューを皮切りにニューヨーク市内近郊、欧州、日本各地でソロ、室内楽、他分野の共演等の活動をされています。そして、ともに「ニューヨークのマネス音楽院」にて研鑽されたことがお二人の共演のキッカケのようです。

★さて、「アメリカのクラシック？」と思われる方、いらっしゃいますよね？ 私もその中のひとりです。そこで、出演者の岩下さんと宮崎さんに、いろいろお聞きしました。お答えいただき本当にお二人には感謝しています。ありがとうございました。

☆アメリカのクラシック音楽とは？  
岩下さんいわく、「ヨーロッパの伝統的なクラシック音楽から発展した、アメリカ独自性のあるクラシック音楽です。ポップス、フォークソングとも相互的な関わりが深く、クラシック音楽でないジャンルとの境界線が曖昧に感じられます」と。ヨーロッパの伝統的なクラシック音楽に比べて、ほかのジャンルとの融合が特徴的ということですね。

☆アメリカ音楽の魅力は？  
岩下さんは近現代的な拍子、リズム感に彩られた旋律と和音展開、さらに英語という言葉そのもの。宮崎さんはアメリカらしい大胆さとポジティブさ、曲に垣間見えるコミカルさとおっしゃっています。アメリカのクラシックは、実は忠実にクラシックの規則に則っており、その中にユーモアがあるそうです。「真面目そうで面白い、面白そうで真面目」だそう。難しいですが、聴いていてそれがわかれば相当あなたも音楽通！！

☆イタリアオペラなどと歌い方は違う？  
基本的に一緒だけれど、母音が多くて子音の協調の仕方等が異なり、文章の中で重きを置く言葉の位置や方法が違うそうです。とても興味深いですね。

☆「サウンド・オブ・ミュージック」はクラシック？  
難しいですが、バーンスタインも、ガーシュインもオペラともミュージカルとも言える作品があり、「サウンド・オブ・ミュージック」もアメリカクラシック音楽の源流に位置付けてもいいのではというのが、岩下さんのご意見です。ちなみに「サウンド・オブ・ミュージック」はドイツでは人気がないとか。何故なのでしょう？

☆黒人霊歌はいつから始まった？  
いつごろから始まったのかは難しいですが、アメリカに奴隷として連れてこられたアフリカの黒人達はアフリカ土着の音楽と英語によるキリスト教の讃美歌を結びつけました。苦しい生活の中で救いを求めて祈り、踊り、歌いました。アフリカ由来のリズム感や旋律感はミュージカル、ゴスペル、ジャズ、ブルースとアメリカ音楽のすべてのジャンルに影響を与えています。

☆黒人霊歌と奴隷制度の関わりは？  
何かしら関わりはあるとは思いますが、はっきりとは言えないそうです。

それは歴史の専門家にお任せするとして…。

宮崎さん演奏予定のピアノ曲～ゴットシャルクの「ユニオン-アメリカ愛唱歌による演奏会用パラフレーズ」は、南北戦争中に作曲されたとか。ゴットシャルクは、南部のニューオリンズ出身にも拘らず、北部の連邦政府（ユニオン）を支持して、兵士や市民の前でこの曲を頻りに演奏したそうです。1864年にはリンカーン大統領夫妻の前で演奏されたそうです。

まさしく「アメリカ音楽の光と影」ともいうべき、ブロードウェイやラスベガスの華やかできらびやかな世界、そして反対に虐げられた者の苦しみや悲しみ、これらに思いを馳せながら…お聴きください。

どうぞお楽しみに！

■次回予約申し込み■

下記URL（「ジョイコン」ホームページ）  
<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

または、携帯電話 080-8424-5108  
からお願いします。

※既に特別予約（会場予約）をされた方、ホームページ等で予約済みの方は  
あらためて申し込みをする必要はありません。  
※なお、このメールマガジンへの返信から「予約申し込み」はできません

---

【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」は受付けておりません

---

■■第8回コンサート■■

- ◇2014年3月16日（日曜日）14:00開演（13:30受付開始）
- ◇出演：桜井 真理（クラリネット）、堀米 綾（ハープ）
- ◇プログラム（予定）
  - ・リード：組曲「キッチンガーデン」
  - ・サティ：ジュ・トゥ・ヴ
  - ・モーツァルト：教会ソナタ より
  - ・プーランク：愛の小径
  - ・クライスラー：美しきロスマリン
  - ・レスピーギ（グランジャーニ編曲）：シチリアーナ（ハープ独奏）
- 他

☆やわらかいクラリネットとやさしいハープの音色にのせて  
皆様を花咲き乱れる春の庭にご案内します。  
お馴染の名曲の数々をお届けする予定。  
どうぞご期待ください。

※「♪ジョイコン NEWS ♪」（第1号）でご案内した  
平井千絵（フォルテピアノ）さんは、  
ご本人の都合により変更となりました。

---

■■第9回コンサート■■

- ◇2014年5月18日（日曜日）14:00開演（13:30受付開始）
- ◇出演：大倉山カルテット

☆第3回（2013年5月19日公演）で“鮮烈デビュー”を  
印象づけた、あの『大倉山カルテット』が再登場致します。

ご期待ください。

---

■■第10回コンサート■■

◇2014年7月20日（日曜日）14:00開演（13:30受付開始）  
◇出演：菊地裕介（ピアノ）

の予定です。お楽しみに！！

---

【3】クラシック作曲家の生没年

---

ジョイコンのプログラムでは、毎回全曲目の解説を載せています。  
皆さん、読んでいますか？  
え、なに？ 会場では…時間がないから…全部読んでいない！？  
それは残念。ぜひ後で読み返してみてください。

というのは、この曲目解説は演奏者に執筆して頂いたからです。  
演奏者が選曲した“想い”を端的に表現しているはずであり、  
皆さんへのメッセージでもある訳です。  
読めば、そこに新しい発見があるかも知れませんよ。

また、この解説には、作曲者の生没年を記載しています。  
作曲者の活躍した時代背景や解説内容の理解に参考になるからです。

ところで、この生没年をもとに、“メモリアルイヤー”として  
使われることが多くなりましたね。  
例えば、今年2013年はワーグナーとヴェルディの生誕200年、  
マスカーニの生誕150年、ブリテンの生誕100周年に当たり、  
プーランクとヒンデミットの没後50年に当たるそうです。

来年2014年は、リヒャルト・シュトラウスの生誕150周年ですね。  
そういえば、ある著名オーケストラのチラシにもそのことが印刷されて  
いるのを見かけました。

メモリアルイヤーということで普段より演奏される機会が増えて、  
生演奏を聴けるのはファンとしては歓迎ですね。

---

【4】コンサートのアンケートから

---

★★「ジョイコン」では、毎回アンケートへのご協力をお願いしております。  
常にお客様のご意見・ご要望に真摯に耳を傾け、  
コンサートの企画や運営に役立ててまいります。  
お手数ですが、今後ともご協力を宜しくお願い致します。★★

☆多くの方々から温かいご意見をいただいています。  
ありがとうございます。

★前回のヴィオラ・ダ・ガンバの演奏会について

・「初めてヴィオラ・ダ・ガンバを聴きました。とてもよかったです」  
・「モダン楽器にないしっとりとした音色が大倉山記念館にマッチして  
とてもリラックスし癒された」  
・「神戸さんの解説がとてもためになった」  
などのたくさんのご感想が寄せられました。ありがとうございます。

少しでも皆様の有意義な時間になれば嬉しいです。

★前号の【コンサートのアンケートから】で  
「ハープの楽器について説明して欲しい」というご意見を紹介しました。

その時点では全く予期していなかったことですが、  
第8回の演奏会は、急遽“クラリネットとハープ”に決まりました！！

「ペダルや音の出し方」など、ハープについては是非お話しして頂けるよう  
お願いしたいと思います。

これも是非是非お楽しみに。  
3月16日（日）スケジュール帳にチェックしましょう！

---

#### 【編集後記】

---

まもなく大晦日そして新年ですね。

皆さんは、どこで新年を迎える計画ですか？  
「帰省先」とか、久しぶりに旅行するので「旅行先」とか、若い方なら  
友達とスキー先とか…。  
いやいや、やっぱり自宅で家族と一緒にNHKの紅白を観て…という  
方が多数派でしょうか？

因みに私の場合、みなとみらいホールで「ジルヴェスターコンサート」を  
聴き（観）ながら…というのがここ10数年の恒例行事です。

何処で新年を迎えるにせよ、希望ある良い年であってほしいですね。

---

※最後まで、お読みいただきまして有難うございます。

※このメールマガジンは、  
大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で  
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

※「レイアウトが崩れている」場合  
等幅フォント（MSゴシックやMS明朝など）に表示フォントの設定を  
変更すると、読みやすくなります。

■次回予約申し込み■  
下記URL（「ジョイコン」ホームページ）  
<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

または、携帯電話 080-8424-5108  
からお願いします。

■配信停止／アドレス変更■  
メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら  
[info@ohkurayama-joycon.com](mailto:info@ohkurayama-joycon.com)

---

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会  
Eメール [info@ohkurayama-joycon.com](mailto:info@ohkurayama-joycon.com)  
携帯電話 080-8424-5108  
URL <http://www.ohkurayama-joycon.com/>

---